

VOL.02 第39回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 2回戦

真の大学日本一へ



高知大学: 2015/08/07@ヤンマースタジアム長居

PHOTO:Reiko Iijima

MIKASA

KIRIN
キリンビバレッジ

Mizuno

mandom

ゴミは各自で
お持ち帰りください。

総理大臣杯の1回戦から準々決勝は
無料で観戦できます！

JUFA
Kansai

発行: 関西学生サッカー連盟
TEL 06-6268-6400
WEB <http://www.jufa-kansai.jp/>

Match Preview

試合の見どころ

ヤンマースタジアム長居 15:30 KICKOFF Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)

大阪体育大学

vs

東洋大学

大阪体育大学は攻守に運動量が際立つ。J2・セレッソ大阪に入団が決まった、大学界屈指のFW10,澤上竜二(4年)を軸に多彩な攻撃でゴールを狙う。坂本康博総監督はこれまでに総理大臣杯を3度制しており、今大会も見据えるのは頂点のみ。東洋大学は今大会唯一の初出場。1年時から試合に出場している経験豊富なDF4,郡司昌弥(4年)を軸に、安定した守備から流れをつかみたい。

ヤンマースタジアム長居 18:00 KICKOFF Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)

明治大学

vs

北海道教育大学岩見沢校

関東王者として臨む明治大学はユニバーシアード代表のDF2,室屋成(3年)を筆頭にタレントがそろそろ。2013年大会の決勝で流通経済大学に敗れており、今回こそ悲願の頂点を目指す。北海道教育大学岩見沢校は1回戦で3得点を挙げ、PK戦の末に勝利と勢いに乗る。越山賢一監督は「中盤で相手にボールを持たれるだろうが、チャレンジャー精神で挑みたい」と。粘り強い守備からの速攻で、勝機をつかみたい。

キンチョウスタジアム 15:30 KICKOFF Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)

法政大学

vs

中京大学

法政大学は巧みなパスで攻撃をリードするMF10,西室隆規(4年)ら攻撃陣が多彩で、1982年大会以来の優勝を見据える。中京大学は「どこからでも点が取れる」のが強みで、正確なキックを持つDF7,鈴木潤(4年)を起点に厚い攻撃を仕掛ける。2010年には総理大臣杯、全日本大学選手権ともに決勝で涙をのんでおり、今大会こそ悲願の頂点を目指す。

キンチョウスタジアム 18:00 KICKOFF Reported by 貞永晃二(サッカーライター)

高知大学

vs

関西学院大学

「DFさえ安定すれば強い」と自信を口にした高知大学・野地照樹監督。苦しい1回戦をスピードのある攻撃のコマを後半途中投入で追いつき、PK戦ながら勝ち上がった。関西学院大学にはボールを支配されるだろう。大学サッカー界随一の点取り屋のFW13,呉屋大翔をタイトにマークすることはもちろん、少しでもDFが集中力を失い調子に乗せるとゴールラッシュを浴びることになる。何とか0-0で後半に持ち込めれば勝機も見えてくるはずだ。

J-GREEN堺・メインフィールド 15:30 KICKOFF Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)

専修大学

vs

福岡大学

専修大学は両ウイングにスピードのある選手をそろえ、迫力のある攻撃でゴールに迫る。守備面もセービング、キックともにレベルの高いGK1,福島春樹(4年)を軸に安定している。九州王者の福岡大学は出場校中最多の32度目の出場。ユニバーシアード代表のMF15,木本恭生(4年)は視野が広く、精度の高いパスを操る。また長身選手が多く、セットプレーも得点源となっている。

J-GREEN堺・メインフィールド 18:00 KICKOFF Reported by 貞永晃二(サッカーライター)

筑波大学

vs

北陸大学

おそらく北陸大学には、大会前から名門・筑波大学と対戦したいというモチベーションはあったはず。越田剛史総監督、西川周吾監督がともに筑波大学OBであるからだ。後輩である筑波大学・小井土正亮監督には「2軍を出して」と頼んでであると笑った西川監督だが、昨年夏に対戦した際敗れたものの先制点を決められたことを糧に「また4年生が意地を見せてくれる。通用するかどうかは別にしてここまでやってきたことをぶつけたい」と意欲を見せた。

阪南大学

vs

平成国際大学

阪南大学は昨年の総理大臣杯で8強、全日本大学選手権で4強と、近年安定した結果を残している。状況判断に優れ、J1・ヴィッセル神戸入りが決まっているMF14,松下佳貴(4年)を軸に積極的に仕掛け、2012年大会以来の頂点を目指す。関東の最後の一枠をつかんだ平成国際大学は、初出場だった2012年大会では1回戦敗退。安定した守備から、まずは全国の舞台で「1勝」を狙いたい。

鹿屋体育大学

vs

流通経済大学

鹿屋体育大学は1回戦で常葉大学浜松キャンパスから4得点を奪って快勝。激しいプレスが予想される中、MF10,松田天馬(2年)を軸にどれだけボールを動かしてリズムを作れるか。得点源となっているセットプレーも鍵になりそうだ。流通経済大学・中野雄二監督は、「過去の2大会よりも、今年の方が強い」と言い切る。大学創立50周年の今年、関東1部リーグでも前期2位につけており、大会3連覇を狙うチームに死角はない。

Official Goods

第39回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント グッズ販売！

◎ユニフォーム型ストラップ



イヤホンジャック無
販売価格 500円



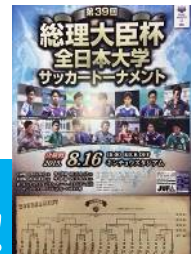
イヤホンジャック有
販売価格 700円

◎記念タオル



販売価格 700円

◎公式プログラム



販売価格 1000円

販売は各会場入場ゲートにて。
ご来場の記念にぜひお買い求めください！

大会記念写真購入のお知らせ

今年も株式会社P&P浜松様のご協力で大会記念パネルや写真の購入が可能になります。

- ・インターネットでのご注文について
ご注文は、キャビネ写真(127mm×180mm)
- ・販売期間 大会終了2週間後～2015年10月31日(土)
- ・ご購入方法

- ①検索サイトで「フォストア P&P浜松」と検索
- ②ログインフォームにID「70539」・パスワードに「0807」を入力
- ③画面表示される赤いセキュリティコード5文字を入力しログインをクリック

商品の内容に関する
お問い合わせ先

株式会社P&P浜松

0120-55-7979
(9:00～17:00 土・日祝休)



TICKET

お買い求めについて

チケットぴあにて販売中！ (準決勝より有料)

チケットぴあ
(Pコード 683-902)

	前売り	当日
大人	¥800	¥1,000
中高生	¥300	¥400

※試合会場でもお買い求めいただけます。 お買い求めは入場ゲート横物販コーナーにて。

Match Review Result & Report

Reported by 貞永晃二(サッカーライター)

仙台大学

vs

高知大学

ヤンマースタジアム長居の巨大な屋根でさえピッチには少しの影しか作れない序盤。仙台大学は、高知大学・野地照樹監督が「驚いた」というほどシンプルにDFラインの背後にボールを送り込んできた。高知大学はつなぐ意識こそ高いが、ミスが出てチャンスに繋がらない。最初のシュートは高知大学。攻撃参加したDF23,西埜植颯斗が思い切り良く狙う。仙台大学も負けず攻め、14分にFW11,石川隆太のシュートはGK21,亀岡秀平が触れて惜しくもバーをヒットする。さらに仙台大学のFW18,堺俊暉の好シュートもGK亀岡に阻まれた。高知大学も35分に複数の選手が絡み鮮やかなダイレクトパスで崩すがMF20,藤井勇大のシュートはバーを越えた。気温も下がった後半、均衡は55分に破れた。仙台大学は正面左寄りのFKをMF4,児玉昇が豪快にネットを揺らす一撃で先制した。しかし、高知大学は飲水タイム直後に2人を同時交代、これが結局は仙台大学の集中を失わせ、直後72分に鮮やかなカウンターから、入ったばかりのMF9,後藤寛太がファーストタッチで同点とする。その後退場者が出て10人となった仙台大学を攻め立てた高知大学だが決定機を活かせず終了。5人ずつ蹴ったPK方式で高知大学が勝利した。勝った高知大学は2回戦で地元関西第1代表、優勝候補の関西学院大学に挑む。

2015年8月7日(金) 15:32キックオフ 会場/ヤンマースタジアム長居 天候/晴 入場者数/340人			
仙台大学	1	0-0 1-1 3PK4	高知大学
55分 児玉昇	得点 (アシスト)	72分 後藤寛太(曾根友祐・山崎一帆)	



Reported by 貞永晃二(サッカーライター)

北陸大学

vs

大阪経済大学

気温も少し下がり始めた第2試合。大阪経済大学はFW4,坪井啓悟をターゲットにロングボールを狙うが、北陸大学は丁寧なパスで崩し2度のチャンスを迎える。そのままペースを握った北陸大学は18分、FW11,小畑隼人のシュートが惜しくも右ポストに邪魔をされる。その後も攻める北陸大学、守る大阪経済大学という展開が続いた。それでも大阪経済大学の最初のシュートは38分、中央スループスを上手く受けて抜け出たMF18,宮原直也だったが、前に出た北陸大学GK1,谷垣大輔がファインセーブで防ぐ。後半は北陸大学が支配した前半と異なり、大阪経済大学がパスをつなぎ始めて地上戦の様相となるが、ともに決め手に欠け相手GKを脅かすシュートは打てず0-0のまま時間は経過していく。ともに次々と交代カードを切りチャンス数は増えるが、今度はシュート精度を欠く。大阪経済大学は80分に、北陸大学は81分にそれぞれ絶好機を決められず、決着はPK方式か、という空気が漂った90+1分、ゴールキックからMF22,磯貝誓、MF7,菅原悠平とつないで勝利を呼び込む値千金のゴールゲット。「普段は走らないヤツが走ったから」と北陸大学・西川周吾監督からも最高?の賛辞。その後も守りに入らず2点目を狙う姿勢を維持した北陸大学は大会初勝利を決め、次は筑波大学の胸を借りる。

2015年8月7日(金) 18:10キックオフ 会場/ヤンマースタジアム長居 天候/晴 入場者数/564人			
北陸大学	1	0-0 1-0	大阪経済大学
90+1分 菅原悠平(磯貝誓・谷垣大輔)	得点 (アシスト)		



イベント案内

勝敗予想を実施!

応援するチームの勝利を予想してください!
各会場に設置してある勝敗予想BOXに用紙をお入れください。

見事、あたった方には抽選で
(株)マンダム提供のステキな景品をプレゼント!



Match Review Result & Report

Reported by 岡田浩幸(読売新聞運動部)

北海道教育大学岩見沢校

vs

IPU・環太平洋大学

30度を超える酷暑の試合。互いに我慢の展開かと思いきや、試合は点の取り合いとなった。序盤に押し込んだのはIPU・環太平洋大学だったが、12分の先制点は北海道教育大学岩見沢校。相手の縦パスを奪うと一気に攻め込み、ゴール正面右で相手DFと競り合いながらうまく体を入れてボールを受けたFW37,加藤大登(2年)が豪快に蹴りこんだ。さらに17分に左CKからファーサイドのDF6,高橋純平(3年)が頭で押し込み追加点。一気に突き放したかにみえたが、ここからIPU・環太平洋大学が盛り返す。20分に右サイドから攻め、最後はMF6,中村健人(4年)が詰めて1点を返すと、31分にはFKからMF14,前田匠(4年)が蹴りこみ同点。後半にも1点ずつ取り合い、最後はPK戦の末に北海道教育大学岩見沢校が勝利を手にした。両チームとも粘り強さが際立ったが、勝敗を分けた要因をあえて挙げれば、「全国大会での経験の差」(IPU・環太平洋大学・DF7,大倉康輝(4年))だろうか。IPU・環太平洋大学は57分に勝ち越した後、全体のラインが下がってしまい、北海道教育大学岩見沢校はそこを逃さずゴールを奪った。PK戦では、IPU・環太平洋大学の3人目が失敗したのに対し、北海道教育大学岩見沢校は5人全員がきっちり決めた。北海道教育大学岩見沢校・越山賢一監督は「リードして、逆転されたけど粘って追いつき、最後はPKを全員決めての勝利。一番勢いがつく勝ち方じゃないですか」と。強豪・明治大学との2回戦に向け、手応え十分の初戦となった。

2015年8月7日(金) 15:32キックオフ 会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/晴 入場者数/323人			
北海道教育大学岩見沢校	3	2-2 1-1 SPK4	IPU・環太平洋大学
12分 加藤大登(小泉洋生)		20分 中村健人(堀山勝矢)	
17分 高橋純平(小泉洋生)		31分 前田匠(堀山勝矢)	
72分 井堀純/輔		57分 堀山勝矢(伊東慎也)	
		得点 (アシスト)	



Reported by 岡田浩幸(読売新聞運動部)

鹿屋体育大学

vs

常葉大学浜松キャンパス

中盤の攻防が、試合の行方を決めた。輝きを放ったのは、鹿屋体育大学が誇るMF8,中原優生(4年)、MF10,松田天馬(2年)の両ボランチだ。先手をとったのは、常葉大学浜松キャンパスだった。29分にFW9,大野耀平(3年)のゴールで先制。しかし松田は、「慌てなかった。自分たちのサッカーができれば点は取れると思っていた」と。松田と中原が積極的にボールを受け、巧みに緩急をつけながら、長短のパスを織り交ぜて攻撃のリズムを生み出す。機を見た攻め上がりも相手の脅威となり、常葉大学浜松キャンパスはファウルで止めるのが精一杯だった。35分に松田のFKから中原が同点ゴール。1点ずつ取り合って迎えた試合終盤になっても鹿屋体育大学の運動量は衰えず、82分に再び松田のFKから勝ち越しゴールを奪うと、その1分後には味方のシュートのこぼれ球に反応したDF33,福森勇太(1年)が豪快に蹴りこみ、勝負は決まった。試合後、常葉大学浜松キャンパスの元日本代表MF、澤登正朗監督は「相手のボランチはボール回しにうまさがあり、こちらは追いかけるばかりになった。あそこでのポゼッションが、ジャブとなって(終盤に)効いてくる」と敗因を分析。一方で、鹿屋体育大学の松田は「鹿屋らしく相手をゆさぶって、試合をコントロールできた」と納得の表情を見せた。それでも、慢心はない。2回戦の相手は3連覇を狙う王者・流通経済大学。松田は「パスワークや球際の戦いなど、もう一段階レベルを上げて挑みたい」と気を引き締めた。

2015年8月7日(金) 18:00キックオフ 会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/晴 入場者数/196人			
鹿屋体育大学	4	1-1 3-1	常葉大学浜松キャンパス
35分 中原優生(松田天馬)		29分 大野耀平(遠藤雄也・登崎雅貴)	
58分 森川和命(下坂晃城)		53分 遠藤雄也	
82分 片井巧(松田天馬・原亮平)			
83分 福森勇太		得点 (アシスト)	



関西学生サッカー連盟公式SNS

- ① 試合前日には、公式facebookにて試合の見どころをご紹介！！
- ② 試合当日には、公式Twitterにて全会場の前半スコア&試合終了時スコアを投稿！！
※当日のメンバー表&公式記録は公式facebookにて投稿します。
- ③ 試合後の詳しい結果を公式facebookにて投稿！！

各公式サイトへは下記のQRコードより読み取り、アクセスしていただけます。
大会情報盛りだくさんの関西学生サッカー連盟公式SNSをぜひご活用ください！

SNSアカウント一覧

Ameba



facebook



Twitter

